

薬草の新たな有用成分の 抽出・製造方法を確立

有限会社 沖縄長生薬 草本社

沖縄県
南城市佐敷字仲伊保116-1

1991年(平成3年)設立
098-947-3214

<http://www.cho-sei.co.jp>



代表取締役
下地 清吉

沖縄県産の薬草に含有されるポリフェノールの抽出・製造方法の確立により、薬草の新たな活用分野を開拓。その技術が海外メーカーとの信頼関係を構築

素材の特徴を活かしたブレンド力

同社のものづくりの基本は、素材の特徴を生かし「1つの素材にないものは他の素材を組み合わせることで補い合う」考え方である。ウコン、グァバ、クミスクチンは、自社農場及び契約農家で素材にあった管理・栽培方法を取り入れ、また、入手困難な薬草は海外から輸入する体制を整備するなど、常に良質な素材の生産と特徴を補い合うブレンド力で、商品開発を追求している。(2003年ISO-HACCP認証を取得)

独自の商品開発と産学連携による実証実験に取り組む

ウコンの有効成分の1つであるクルクミンの分子の一部をシクロデキストリン(デンプン類から得られる環状オリゴ糖)による包接化や、酵素を用いたクルクミンに糖鎖を付ける新たな成分抽出・製造方法の確立(特許申請中)により、ポリフェノール有用性商品の開発・差別化を図るとともに、薬草の新たな活用分野を追求している。また、沖縄産の薬草を素材として100種類を超える商品を製造・販売し、その商品のほとんどに含まれている有効成分が、産学官連携によるマウスを使った実証実験によって、健康補助食品に役立つことが示唆されている。

常に業界をリードした技術が宇宙で開花

同社が30年前に発売した16種ブレンド茶が、国内ブレンド茶の先駆けといわれ、その後、業界初のオリジナル粒タイプの商品の発売や、沖縄に豊富に存在する有用植物の商品化・産業化を図るなど、常に業界をリードしている。また、海外からもその技術が認められ、アメリカをはじめ中国、台湾、香港等への輸出も展開している。

同社で生産されるウコンが、国際宇宙ステーションの日本実験棟「きぼう」で行う植物生育の実験題材の候補となり、宇宙航空研究開発機構(JAXA)の審査を受けることになっている。

沖縄長生薬草本社全景



主力商品



ウコン畑 (沖縄皇金)
おきなわおうこん

